

# 令和5年度シラバス（外国語）

44 新潟県央工業高等学校

教科（科目）	単位数	学年	学科・コース	授業形態
外国語（英語コミュニケーションⅠ）	3単位	1学年	工業科	一斉授業
使用教科書・副教材等	All Aboard! English Communication I（東京書籍） All Aboard! English Communication I WORKBOOK（東京書籍） ベーシックジーニアス英和辞典（大修館）			

## 1 学習の到達目標

- 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、
- (1) 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
  - (2) 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
  - (3) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
  - (4) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
  - (5) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

## 2 科目の特色・指導の重点

- ア. 中学既習事項の文法事項を復習しながら、基本的な語彙や文法を身につける。  
 イ. 教科書の英文をもとに、3つの観点から、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと、の力を身につけ、自己発信力やコミュニケーションの技術を高める。  
 ウ. 英語を用いて、日常的な話題や社会的な話題について認識を深め、視野を広げる。

## 3 評価の観点と評価方法

観点	評価規準	評価方法
① 知識・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> </ul>
② 思考・ 判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・リスニングテスト</li> <li>・音読テスト</li> <li>・パフォーマンステスト</li> </ul>
③ 主体的に 学習に取り 組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の様子</li> <li>・課題提出</li> <li>・言語活動への取り組み状況（授業時の発表、発言）</li> <li>・出席状況</li> </ul>

4 学習の計画 (①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度)

学期	学習項目	時数	学習内容(ねらい)・評価の観点	①	②	③	評価方法
1 学期	Warm-Up1 アルファベット	1	・身近な日常生活の中にある英語の単語を書き、発音を確認する。	○			・言語活動への取り組み状況 ・ノート確認 ・課題提出 ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・音読テスト ・リスニングテスト ・ペアワーク ・グループワーク
	Warm-Up2 教室で使う表現		・英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。	○	○	○	
	Warm-Up3 辞書の使い方/疑問詞		・授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を、理解し、実際に使ってみる。	○	○	○	
	Pre-Lesson1 My Name Is Ito Neko	2	・辞書の使い方と役に立つ用語について学習する。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。	○		○	
	Pre-Lesson2 I Like Junk Food	2	・be 動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。	○	○	○	
	Lesson1 Breakfast around the World	10	・自分の名前・性格・特徴などを、be 動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけ、相手が理解しやすいように伝える。	○	○	○	
	Lesson2 Australia's Cute Quokkas	12	・一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。	○		○	
Lesson3 A Train Driver in Sanriku	12	・自分の日常行動や食べ物の好みなどを be 動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけ、相手が理解しやすいように伝える。	○	○	○		
Lesson4 A Miracle Mirror	12	・世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。	○		○	39時間	
Lesson5 Learning from the Sea	11	・動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。	○	○	○		
			・好きな食べ物について、英語で話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	
			・オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。	○		○	
			・進行形 (be 動詞 + 動詞の ing 形) を用いた文の形・意味・用法を理解する。	○	○	○	
			・好きな動物について、英語で話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	
			・被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。	○		○	
			・助動詞 can、will を用いた文の形・意味・用法を理解する。	○	○	○	
			・ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	
2 学期	Lesson4 A Miracle Mirror	12	・海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。	○		○	・言語活動への取り組み状況 ・ノート確認 ・課題提出 ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・音読テスト ・リスニングテスト ・ペアワーク ・グループワーク
	Lesson5 Learning from the Sea	11	・To 不定詞 (to+動詞の原形) を用いた文の形・意味・用法を理解する。	○	○	○	
			・言ってみたい場所について、英語で話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	
			・高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。	○		○	
			・動名詞 (動詞の ing 形) を用いた文の形・意味・用法を理解する。	○	○	○	
			・将来の夢について、英語で話したり書いたりして伝えることができる。	○	○	○	

	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period	11	・江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 ・受け身〈be動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・好きな絵について、英語で話したり書いたりして伝えることができる。	○ ○ ○	○ ○ ○		
	Lesson7 A Diary of Hope	11	・アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業をとおして、生きることの意味について考える。 ・比較表限〈-er〉〈-est〉〈as+原級+as〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・関心のある人物について、英語で話したり書いたりして伝えることができる。	○ ○ ○	○ ○ ○		45時間
3 学 期	Lesson8 A Door to a New Life	11	・ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 ・現在完了形〈have[has]+過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・人の生活を豊かにするロボットについて、英語で提案することができる。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	・言語活動への取り組み状況 ・ノート確認 ・課題提出 ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・音読テスト
	Lesson9 Fighting Plastic Pollution	10	・プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。 ・「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解する。 ・環境を守るためにできることについて、英語で話したり書いたりして伝えることができる。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	・リスニングテスト ・ペアワーク ・グループワーク  21時間

計 105 時間 (50 分授業)

### 5 その他 (担当者からの一言・留意点など)

英語が苦手という人も、中学での学習内容を復習しながら基礎的な力を再構築していきます。辞書の使い方や単語の調べ方に慣れ、英語の学習習慣が身につくと、さまざまなジャンルの英文が読めるようになり、おもしろみが増してくるでしょう。

日頃から予習、復習を大切にし、課題や小テストをこなすことで必ず力はついてきます。英語を用いて、日常的な話題や社会的な話題について、考えや気持ちなどを表現し、異文化コミュニケーションの楽しさを味わいましょう。